

利根川



VOL. 21

2003 10月号

利根川水系農業水利協議会
群馬県支部情報紙

編集・発行 利根川水系農業水利協議会群馬県支部
〒371-0837 群馬県前橋市箱田町350
027-251-4105

会員施設紹介コーナー



甘楽多野用水土地改良区（下仁田頭首工・丹生湖・不通水管橋）

とおりず

甘楽多野用水は、鎗川よりかんがい用水と防火用水としての利用目的で当時の富岡町を中心に四町三ヶ村で昭和11年より工事を着工し、予想外の難工事を乗り越え16年の歳月をかけ完成しました。

延長24kmのうち、昭和33年からの国営鎗川事業により、下仁田頭首工の新設等を行い現在に至っています。

鎗川一番の景観地である不通溪谷にかかる不通水管橋は、平成元年から平成7年にかけて県営農地防災事業により改修されましたが、当時を知る大変貴重な施設であると各方面からの要望で、橋けたのみが残されています。

当時に施工された丹生湖は、現在ヘラブナ・ワカサギ・桜等で知られ、農業用水だけではなく多目的に利用されています。



下仁田頭首工



丹生湖

不通水管橋



みどり
広めよう! 土地改良区の愛称「水土里ネット」

大間々用水土地改良区（深沢川頭首工・早川貯水池取水口・除塵機）



深沢川頭首工は、昭和37年度に県営かんがい排水事業により造成され、以来40年間、大間々用水の水源として利用されている施設ですが、近年老朽化が進み改修が望まれています。

頭首工から下流は10ヶ所の隧道（約1.8km）を含む導水路（約7km）を経て早川貯水池に注水します。

貯水された水は平成12年度に県営畑地帯総合土地改良事業で造成された早川貯水池取水口よりパイプラインで大間々町・笠懸町・新里村・赤堀町の4か町村の畑地帯359haに送水しています。

パイプラインの途中には、ゴミを取り除く除塵機（2機）や圧力を調整する減圧弁（2台）が設置されており、地域内に安定した農業用水を送り続けています。



深沢川頭首工



早川貯水池取水口



除塵機

用語解説コーナー

水利権の許可期限について

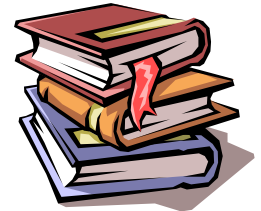
水利権の許可期限については、通常は10年間（発電のみ30年間）とされています。

水利使用規則上の許可期限は、その許可の条件を再検討するためであり、その期間満了後に再度許可を受けるべきことを命じた条例と考えることができます。

例えばこの許可期限が更新されないまま許可期限が到来しても、その許可は失効せず、流水占用権は存続するものと解されます。つまりこの権利は特例の場合を除き、ほぼ永久的に取水の継続が認められています。

なお、慣行水利権については許可期限はなく、水の実事上の独占・排他的利用が継続する間は効力が存続することとなっています。

水に関するコーナー



暗渠排水の歴史

暗渠排水としては、溝を掘って竹や粗朶の束を埋込んで暗渠として水を集め排出していましたが、明治17年富田甚平とみたじんべい（現在の熊本県菊池郡七城町出身）が「留井戸工法」を、明治36年「水閘土管」を考案したことに始まり、素焼土管で暗渠の排水を行うようになり、この工法が各地へ広がって行きました。

そして、素焼土管による暗渠排水が本格化したのは、戦時中から戦後にかけて食糧増産のための農地整備が行われた頃で、全国各地で素焼土管による暗渠排水が施工され食糧増産に大きく寄与しました。

昭和30年後半から40年代前半にかけては、住宅地整備工事で家庭からの排水処理のために、たくさんの土管が使用され、新興都市建設に大きく貢献しました。

しかし、昭和40年半ば頃からは塩化ビニルパイプなどの石油化学製品が出現し、各方面で使用されるようになり、その後もポリエチレン・ポリプロピレンなどの化学物質を使った製品が次々と製造され、高度成長期の象徴として様々な方面で脚光を浴びました。暗渠排水の資材も、80年以上の実績を持つ素焼土管に代わり、低価格と工事が簡単であるという理由だけで、合成樹脂管がかなりの地域で使用されるようになりました。

ところが、合成樹脂管を使った暗渠排水では当初から排水不良が頻発、その機能、耐久性を疑問視する一方で、次々と送り出される新製品に戸惑いながら、手軽で安価という理由で使用され続けてきました。その結果「暗渠排水は効果がない、工事してもすぐ詰まる」といった訴える農家が増え、そのうえ機能を失った合成樹脂管は、大切な自然を壊していることにも気付かれないまま、掘り起こされることもなく、廃材として永久に土の中に捨てられてしまうことが現状です。

そもそも合成樹脂管は管側面の一部にけられた穴より水を吸水し排水する構造で目詰まりしやすく、素焼土管の場合は管全面で水を自然吸収することができ目詰まりがおこりにくい構造であり、相互の違いが浮き彫りとなってきました。

このような状況の中、昭和30年前後に施工された素焼土管を使用した暗渠排水が、今でもその機能を維持しつづけていることに感心が深められ、昭和50年代後半頃から長い実績を持つ素焼土管暗渠に注目し、その排水能力・耐久性を高く評価され、再び素焼土管を使用するようになってきました。

暗渠排水は効かないものと諦めかけていた農家の人々も、子供の頃、素焼土管暗渠の施工している姿を近くで見た経験があったためか抵抗もなく素焼土管は受入れられました。このようにして施工された素焼土管暗渠は、現在も詰まることもなく排水機能を発揮し今日に至っています。



水に関するQ & A



Q

暗渠排水に使われる被覆材にはどんな種類が使われるのか？

A

被覆材には主に、もみ殻・粗朶類・碎石・軽石・篠竹・松葉・木チップなどがあります。

地区条件により被覆材の種類には多々あるようですが、もみ殻・わら等の使用が多いようです。



第11回 収穫感謝祭が開催されます。

- 開催日10月18日(土)～19日(日) -

1. 主催 収穫感謝祭実行委員会
(群馬県、JA群馬中央会・各連合会、前橋市他計43団体)
2. 開催日 平成15年10月18日(土)～19日(日)
3. 場所 群馬県庁
4. 主な開催内容
 - 正面ステージ
 - 開会式典 ・オープニング(18日/9:50～)
 - ・農業功労者表彰式(18日/10:00～)
 - 秋祭り ・キャラクターショー・料理教室
 - 県民広場周辺
 - ぐんまの味覚と技 ・県内農林水産物、加工品、特産品、民芸品等の展示即売
 - 動物ふれあい広場 ・ウサギ、亀、どじょうとのふれあい、牛の搾乳体験、等
 - 県庁舎一階ホール
 - 農村の匠 ・農業農村名人の実演と体験(そば打ち、繭クラフト、きなこ飴)
 - ぐんまの農業農村 ・群馬県の農業農村の紹介、等
 - 県民駐車場屋上広場
 - 場内ウォークラリー抽選、賞品引換所(内容は変更になる場合があります)
 - 関連行事等
 - ふるさとの食にっぽんの食群馬県フェスティバル
 - 群馬県特産品展示即売会、等
 - その他
 - 収穫感謝祭小学生図画・中学生書道入賞作品展示(県庁舎二階県民ギャラリー)
 - JA共済小中学生書道・ポスターコンクール(昭和庁舎二階)、等
5. お問い合わせ先
群馬県農業経済課消費拡大グループ
TEL:027(226)3052 e-メール:noukeika@pref.gunma.jp

昨年度の開催状況(群馬県土連ブースにて)



紙芝居

水土里ネット群馬も出展いたします。
・農業農村整備パノラマ模型の展示
・21世紀土地改良区創造運動のパネル及び写真の展示
・集排絵画展の作品展示
・フォトコンテストの写真展示
・紙芝居
・ビデオの放映 . . . e t c

集まる人々

